

食育だより 令和6年7月号

志木市立志木第三小学校
栄養教諭 藤本 千尋

6月は、3年生がとうもろこしの皮むき、4年生がヤングコーンの皮むきの体験をしました。どちらの学年も、真剣に楽しく取り組むことができました。



【3年生・4年生の皮むき体験の写真】



七夕は、どんな行事？



7月7日の七夕は、『五節句』のひとつです。五節句とは、季節の節目となる日のことです。それぞれに特別な行事食が用意され、邪気（病気や事故などを起こすと考えられている悪いもの）を払い、無病息災を願う行事です。

五節句

1/7	3/3	5/5	7/7	9/9
人日の節句 (七草の節句) 七草がゆ	上巳の節句 (桃の節句) ちらしずし ハマグリ の潮汁	端午の節句 (菖蒲の節句) かしわもち ちまき	七夕の節句 (笹の節句) そうめん	重陽の節句 (菊の節句) 菊花酒 菊料理

現代の七夕は、笹の葉に七夕飾りや短冊を飾り、習い事などの上達を願う行事になっています。『織姫と彦星』の伝説がもとになって、このような形になったと言われています。織姫と彦星の伝説は、中国から伝わってきました。昔、機織りという衣服の布を作る仕事をしていた織姫と、牛を飼って暮らしていた彦星が恋に落ちました。今まで一生懸命仕事をしてきた2人ですが、遊んでばかりで仕事をしなくなってしまいました。それに怒った織姫の父親である天の帝が、2人を天の川で引き離したところ、織姫が毎日泣いて暮らすようになってしまいました。それを見かねて、7月7日の年に1度だけ会わせるようにしたという内容です。ロマンチックな伝説であるとともに、どんなに楽しいことがあっても、仕事や勉強など、自分のすべきことはきちんとやらなければいけないという意味が込められています。

うれしいハプニング？



給食室で使っている大きなミキサーが急に壊れて動かなくなってしまいました。ずいぶん長い間使ってきたので、寿命だったのかもしれませんが、当日の献立は『じゃがいもの豆乳ポタージュ』。ミキサーがないと作れません。調理員さんがきてんきかせ、ちいさなフードプロセッサを何回も何回も回して対応してくれました。時間も手間もかかりましたが、何とか完成しました。子供達にそのことを話すと、「調理員さんが頑張ってくれたから今日は絶対残さず食べる！」と優しい言葉をかけてくれました。実際の残りは全校でほとんどなく、特に2-1・3-2・4-1・4-2・4-3・5-1・5-2・6-1・6-2は完食してくれました！調理員さんたちも、「諦めずに頑張って作ってよかった！」と空になって返ってきた食缶を見て喜んでいました。大変な出来事でしたが、嬉しい気持ちにもなったハプニングでした。



給食試食会を開催します♪

7月4日(木)に給食試食会を行います。6年生が修学旅行でいないので、余った食器が使えるこの日の実施になります。ご応募いただいた皆様、ありがとうございました。いつも子供達が食べている給食を知ってほしいという思いから実施するので、特別な献立ではなく、3小特製の『カレーライス』を提供します。市販のルウを使わずにたくさんの手間と時間をかけて作るので、本当においしく、大人気のメニューです。試食の前には、給食のこだわりや、安全・安心のために行っていることなどをお話します。